

マイトップニュース

よねしま ななこ  
米島 那菜子さん(成和中2年)

心に寄り添う社会に



川崎市で51歳の容疑者が小学  
生の児童たちを刃物で襲い、19人  
が死傷、容疑者も自殺するという  
事件が起こった。容疑者は、子ど  
もの頃に両親が離婚し、おじ夫婦  
と暮らしていたが、ひきこもり  
がちで会話も少なかったらしい。  
私はこの記事を読んで、いつ  
も通りバスを待っている時に

川崎・致傷事件  
引きこもりがちだった容疑者  
犯罪予備軍視 広がり懸念 支援団体  
「寧ろ個別ケア児童に必要」  
「素直な層」  
「上場」天災が中止を促す  
「専業主婦」  
「専業主婦」  
「専業主婦」

急に男が走ってきて切りつけて  
くるという恐怖は計り知れない  
と思った。しかも、それが自殺  
の道連れだったかもしれないと  
知り、自分勝手な容疑者に怒り  
を覚えた。死傷した19人には何  
の罪もなく、これから輝けたは  
ずの2人の未来が奪われたと思  
うと、胸が苦しくなる。容疑者  
が自殺したことによって、この  
罪を償う人がいなくなった。こ  
れは、容疑者にとってただの逃  
げであり、許せないと私は思う。  
一方、事件を起こす人の中に  
は、心に深い傷がある人もいると  
思う。そんな人が事件を起こさな  
いよう、傷を受けて弱くなった心  
に寄り添い、励ますことが、家  
族や地域の役目だと思つし、そ  
うであつてほしいと願っている。

5月31日付(4面)